



新日本乗員組合 定期総会が開催されました

新日本乗員組合は、海外の航空会社や組合が無い国内の航空会社に所属するパイロットをサポートする目的で、2014年に設立されました。これは2010年のJAL破綻以降の日本人パイロット海外流出や国内LCCの拡大によって、従来のような組合組織ではフォローすることが出来ないパイロットを新しい形でサポートする必要性が生じたことに起因します。

当初は少人数の組合員加盟数でスタートしましたが、時間の経過と共に少しずつその重要性和認知が広まり、2019年に入って組合員数も50名を超え、本格始動するようになりました。その結果、2019年9月27日、新日本乗員組合にとって初となる定例総会（第6期）を開催し、前期決算および当期予算と年間方針が可決されました。また、それに先立ち、組合員投票を経て規約の一部改訂を実施、さらには委員長を選出も行われました。

日乗連は、引き続き新日本乗員組合の事務局体制を全面サポートすると共に、乗員組合の無い航空会社に所属するパイロットに対して、新日本乗員組合への加入によるメリットを実感してもらえるような環境作りに努めていくことで、日本人パイロット全体の組織率向上と産別組織としての団結を目指します。

以上

(参考)

新日本乗員組合とは：<http://alpajapan.org/information->

[2/%e6%96%b0%e6%97%a5%e6%9c%ac%e4%b9%97%e5%93%a1%e7%b5%84%e5%90%88/](http://alpajapan.org/information-2/%e6%96%b0%e6%97%a5%e6%9c%ac%e4%b9%97%e5%93%a1%e7%b5%84%e5%90%88/)

- ・パイロットであれば、外国を含むいかなる航空会社に所属していても加入できます。
- ・日乗連の諸活動に参加できます。
- ・日乗連 LOL（ロスオブライセンス保険）に加入できます。

《詳しくは日乗連事務局「snjk-office@alpajapan.org」にお問い合わせください》